

StarSuite での HTML 形式

新しいドキュメントを作成するとき、HTML 形式ドキュメント作成に必要なテンプレートが自動的に定義されます。HTML 形式で保存する際に、このテンプレートはそれに相当した HTML タグに自動変換されます。また HTML ページのタイトルなどはドキュメント属性から読み取られます。

インターネットあるいはハードデスクから開いた HTML 形式ドキュメントに背景色をつけたりするときになしを指定した場合、そのテンプレートの値が読み込まれ、それを表示します。たとえば、見出しのフォントなどの標準値を変更する場合は、テンプレートを編集してその値を基本フォントに変更し、テンプレートを保存しなおす必要があります。そのためにはメニューでファイル → ドキュメントテンプレートに入り、範囲から オンライン を選択し、HTML 形式テンプレート (標準) という名前のテンプレートを選びます。それから [編集] をクリックすると、ツール → オプション → 文書ドキュメント → 既定のフォントでテンプレートの既定のフォントを変更してそのテンプレートを再保存できます。また段落スタイルの値を直接変更することもできます。そのときスタイルリストを使うと簡単です。次回 HTML 形式ドキュメントをインポートするときはこのテンプレートから情報が読み取られます。

この段落スタイルおよび文字スタイルは、次の HTML タグに相当します:

テンプレート名	HTML タグ
差出人	[ADDRESS]
引用	[BLOCKQUOTE]
横線	[HR]
ソーステキスト	[LISTING]
書式設定済みテキスト	[PRE]
例	[XMP]
見出し 1-6	[H1]-[H6]
表の内容	[TD]
表の見出し	[TH]
本文	[P]
リストの項目 1-5	[DT1]-[DT5]
リストの内容 1-5	[DD1]-[DD5]
不均整なテキスト	[TT]
引用	[CITE]
ソーステキスト	[CODE]
定義	[DFN]
強調	[EM]
さらに強調	[STRONG]
ユーザー入力	[KBD]
例	[SAMP]
変数	[VAR]

次回インターネットに接続されたとき、ぜひ一度 [StarSuite](#) のホームページもご覧ください。